英語の発音について

さて、日本人で多い完璧主義者。失敗するのが怖いが故に、完璧になるまで表舞台には出たくない、出れないと言う深層心理でしょうが、これは英語のスピーキングにも通ずる物あると私は考えます。

発音が悪いから、話したたくない。悪い発音を聞かれるのが恥ずかしい話したくないと言うような思考回路になって、じゃあ、海外に留学したとして、授業中に手を挙げる事を恐れたり、現地人と交流する事に臆病になる人も居るでしょう。

私の場合は元々、小さい頃にアメリカに住んでいたので英語の発音は完璧でしたが、文法がイマイチだったので、間違いを聞かれたくないと恐怖し、授業中には一切、発言する事はございませんでした。

と言う事で気持ちは分かります。しかし、発音に関しては伸びる限界がどうしてもある。何故なら、よく言われるｒの発音のように日本人にはどうしても発音しにくい音が英語にはあるわけです。

英語習得に置ける努力の最高峰と私が称するショーン川上さんですら、発音はネイティブには紙一重及ばず。日本語用に舌が固まってしまった人が発音の完璧さを追い求めるのはまるで、ギリシャ神話に置けるタンタロスの如し。タンタロスは神々の食べ物や酒を奪った事により、頭だけがギリギリ出る状態で水に沈められました。頭の上には果実が実った木。その木からぶら下がる果実を手で掴もうとすると、風が吹いて枝がしなり上がり、あと少しと言う所で果実を掴む事が出来ない刑に課されたのです。

それと同じように、それと同じように、日本人がアメリカ人ばりの発音を手にすると言う事は出来ないのです。

しかし、私はあなたに解決案を用意しました。アメリカ英語では無くてイギリス英語の発音を習得するのを目指すべきです。イギリス英語には日本人にとって最も難しいｒの発音があまり無いのです。天敵が居なくなるのです。

大学に、ブリティッシュ英語を喋るアジア人が居ました。彼が、どう言う経緯でイギリス英語を習得したのかは知りませんが、イギリス英語を喋るアジア人と言うだけで話題になっていたのを覚えています。

と言う事でイギリス英語をマスターして、日本人アクセントから脱却するための禁断の果実を手にしましょう。